

資料 9

中学校及び義務教育学校（後期課程）で使用する社会科（歴史的分野）の
教科書採択にかかる要望書等について

以下のとおり，要請書が寄せられています。

	件名	団体名	日付
1	中学校歴史教科書採択に関する要請書	京都教科書問題連絡会議※ ¹	2021 年 6 月 29 日

（令和 3 年 8 月 5 日時点）

※ 1 構成組織：平和を願い戦争に反対する京都戦没者遺族の会，子どもと教科書京都ネット 21，京都子どもを守る会，新日本婦人の会京都府本部，中国人戦争被害者の要求を支える京都の会，自由法曹団京都支部，京都教育センター，京都教職員組合，京都市教職員組合，京都退職教員の会

2021 年 6 月 29 日

京都市教育委員会

教育長 稲田 新吾 様

中学校歴史教科書採択に関する要請書

京都教科書問題連絡会議

平和を願い戦争に反対する京都戦没者遺族の会（倉本頼一）
子どもと教科書京都ネット21（大八木賢治）
京都子どもを守る会（会長 早川幸生）
新日本婦人の会京都府本部（会長 魚山栄子）
中国人戦争被害者の要求を支える京都の会（桐畑米蔵）
自由法曹団京都支部（幹事長 小笠原伸児）
京都教育センター（代表 高垣忠一郎）
京都教職員組合（執行委員長 中野宏之）
京都市教職員組合（執行委員長 大味祥恵）
京都退職教員の会（会長 長谷川英俊）

子どもたちの健やかな成長発達を保障する教育条件の整備にご尽力されていることに敬意を表します。今年度の中学校教科書採択にあたって、文部科学省の「令和4年度使用教科書の採択事務処理について（通知）（令和3年3月30日）」（以下、「通知」）が出され、京都府教育委員会も4月12日付けで「令和4年度使用教科書の採択事務処理について」（通知）を出しています。京都市教育委員会においてもこの件について6月10日の教育委員会会議で議論され決定されました。

6月10日の京都市教育委員会会議では「新たに検定合格した『自由社』の教科書を調査研究し、（現在使用している）『帝国書院』の教科書と比較・検討のうえ、改めて採択を行う」という方針が提案され決定されました。同時に教育委員各氏からは「これは異例なことではないか」「昨年丁寧に調査研究して採択しすでに子どもたちが帝国書院の教科書を使っている事実は重い。昨年の議論を十分踏まえたうえで公平・公正に採択してほしい」などの意見が出され、事務局からも今回の採択事務が「異例」のことであることが確認されています。稲田教育長も「昨年緻密な選定を行っておりその資料を活用してほしい」と述べられています。

横浜市などでも京都市と同じように調査、展示会を実施するところが多いように思います。しかし東京都の狛江市や大田区、神奈川の藤沢市などでは「採択の審議を行わない」ことを決定しています。というのも文科省「通知」を素直に読み、昨年の採択の経過や4年を前提で学習指導の充実に向けた実践のための研究のための時間確保を考えれば現行の教科書を使用していくというのは自然なことだと思います。万一「採択替え」を行うとなれば大きな負担や混乱を引き起こす可能性が高いといわざるを得ないと思いま

す。

さらにあらたに検定合格した「自由社」の「新しい歴史教科書」の問題点についても指摘をしておきたいと思います。昨年、育鵬社の教科書について京都でも全国でも問題になりました。それはアジア太平洋戦争が「日本は、この戦争を『自存自衛』の戦争としたうえで、大東亜戦争と名付けました」とか「(大東亜戦争)以降、アジアの国々を欧米による植民地支配から解放し、大東亜共栄圏を建設することが、戦争名目として、より明確にかかげられるようになりました」など明らかに歴史事実と反する記述の問題があったからです。また日本国憲法についても「議会審議では…議員は GHQ の意向に反対の声を上げることができず、ほとんど無修正のまま採択されました」と述べ、国会審議の過程で「国民主権の明確化」「25 条の生存権の追加」などの修正された事実を無視するだけでなく、人々の思いを無視したものになっていたからです。今回検定合格したといえども、自由社の「新しい歴史教科書」はさらにそのような傾向に輪をかけてものとなっています。例えば神話と歴史を区別することなく「イワレヒコの命は天の霊力を血筋として受け継いだ…大和に入り初代の神武天皇として即位しました。これが大和朝廷の始まりです。」とか「2 月 11 日の建国記念の日は、神武天皇の(が)即位したとされる紀元前 660 年の 1 月 1 日を太陽暦で表したものです。」と記述されています。これはこの教科書が戦前の皇国史観を前提にしているからです。また日露戦争ではインドのネルーが日本の勝利を賛美しているかのように紹介し、「日露戦争を戦った日本人」(コラム)ではバルチック艦隊を発見した宮古島の 5 人の青年が命がけで石垣島まで知らせに行ったことを英雄として持ち上げ、国民が団結して戦争に協力したことを賛美する内容になっています。戦前の「国史」の教科書とほとんど変わらないものです。このような「歴史教科書」が教科書としてふさわしいものであるはずがありません。

要請事項

中学校の歴史教科書は昨年選んだ教科書を継続して採択して下さい。

以上